

## 県外派遣報告書

- 1 大会名 令和4年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
- 2 派遣期間 7月26日～7月28日
- 3 派遣者 前田 隼大
- 4 担当ゲーム 男子1回戦 能代科学技術高校 vs 実践学園高校  
男子2回戦 駒大苫小牧高校 vs 東海大諏訪高校
- 5 内容

男子1回戦 能代科学技術高校 vs 実践学園高校

CC:前田 U1:金岩 U2:木村

【PGC】 zoomにて実施 ゲーム前にチーム情報確認

- ・プライマリの理解と実践 ・L,C,Tそれぞれの役割、ポジション確認
- ・クロック管理 (TO 機材配置、TO ミーティング内容含む)
- ・リバウンドカバレッジについて
- ・クルーワークについて
- ・ファウル、トラベリングについて

【ゲーム内容】

・序盤からテンポの速いゲーム展開。両チームともに3ポイントシュートが多くみられたが、各プライマリのレフリーがしっかりと判定できた。後半にゲームの様相が変化したものに対応もでき、選手とコミュニケーションを取りつつ円滑にゲームを進行できた。TOも大きなミスなく、細かなクロックミスもクルーで確認が取れており、トラブルには至らなかった。個人としてはマージナルなものを吹いてしまったケースをノーコールにするために何が必要であったのか考えた。

【ポストゲームカンファレンス】

無事終わられたのはレフリーとしてどういった良さがあったのか。プライマリで決断が積み上げられたことが何よりよかった。セカンダリでコールがあったケースに関してプライマリがもっと意識を強く持つこと。TOクルーの協力、感謝。ミスを把握できていた。

TFの確認

男子2回戦 駒大苫小牧高校 vs 東海大諏訪高校

CC:前田 U1:佐竹 U2:木村

【PGC】1回戦同様

確認事項もほぼ1回戦と同様

留学生に対する守り方、ヘルプDFのシリンダー  
留学生のトラベリング

チームスカウティングの共有

【ゲーム内容】

留学生が前日負傷しており、思うようにプレーができず、駒大苫小牧のエースプレイヤーへの対策も徹底されており、レフリーとしてはみるべきものははっきりとされ、確認がしやすかった。バックコート 2PO は C 意識しトライできた。コフィンコーナー(C サイド)トラップ時の打ち合わせは行っていたが、ゲームでは T サイドで多く見られ、フロントコートに入ってからプレッシャーDF をどうみるのかクルーで検証、コミュニケーションを図った。2Q 以降は終始東海大諏訪ペースでゲームが進行するものの両チームともにハードワーク、ダンクショットも数回あるなど、全国区のレベルの高いゲームが展開された。

【ポストゲームカンファレンス】

TF,UF,ハードファウル等は特になく、終えることができた。ダブルチームやプレッシャーDF 時のシリンダーに関してはクルーとしてテンポセットの意識をもっと高く持つことが必要だったかもしれない。T サイドのコフィンコーナーでトラップが多く、T が早くフロントコートに入ることを意識したことで、余裕を持って判定が行え、ファールも減った。C サイドの打ち合わせは行っていたので、上手くいった。中盤のナチュラルインターバル時は探しに行ったりすることなく、プレーを判定できた。

6 所感 約3年ぶりに全国大会へ参加し、全国の審判員の皆様とお会いでき、元気をいただきました。鹿児島 IH とはコロナ前後で対策が異なり、香川県審判員の方々には様々な場面で柔軟に対応していただきました。感染対策の取り組みは県内大会・国体に向け参考になることが多かったです。

ゲームに関しては、いい緊張感を持ち、クルーとコミュニケーションを取り取り組めたところはよかったです。全国大会初 CC を2本担当させていただき、任されたものとしての自覚と責任、自分の色をどれだけ出せるかチャレンジしましたが、まだまだ。。。クルーや TO の皆様に助けていただき試合を終えることができました。しかし、CC を担当させていただいた経験は大きく、クルーに対するアプローチや PGC での共有事項等、今後に糧になるものばかりでした。まずは県内で成果を発揮し、ブロック大会・トップリーグでしっかりと仕事を果たせるよう準備を続けます。今回の視察にあたりご配慮いただきました原田審判長はじめ鹿児島県バスケットボール協会の皆様には感謝致します。また、JBA・香川県バスケットボール協会の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。